

はなわ 議会だより

2021
No.155

発行/福島県塙町議会
令和3年7月16日



木に親しみ、学ぶ

木育事業「木の灯籠づくり」 — 笹原小学校 —

6 月定例会

コロナ関連予算審議(6月定例会) … P 2 ~ 3
町政を問う(一般質問) … P 4 ~ 13
傍聴者インタビュー・臨時会 … P 14 ~ 15
委員会 & 追跡レポート … P 16 ~ 17



塙町議会ホームページ
QR



塙町議会フェイスブック
QR



塙町議会ツイッター
QR

ワクチン接種関連を含む補正予算を可決 国庫補助は約1億6千万円

一般会計2億3,354万円を補正増額



ワクチン接種進んでいます

6月の定例会のあらまし

6月定例会は、6月10日(木)から14日(月)までの5日の会期で開催しました。

エール商品券 (今回の配布は8月予定)



条例関係6件、変更協議1件、補正予算2件、予算繰越報告1件、法人経営状況報告2件が上程され、いずれも原案どおり可決。また、6月11日に議員発議、14日に人事案件1件が追加議案として提出され、どちらも原案どおり可決・同意となりました。なお一般質問は9名の議員が登壇し、町政の課題について議論を展開しました。

【主な内容】
 ◆新型コロナウイルス感染症検査費用助成金 400万円
 感染拡大防止のため、医療機関や検査機関において自費診療でPCR検査を受けた方へ対し検査費用の7割を助成する。対象は、町内在住者および町内の事業所に勤務している方。
 ◆「農・商」販売力低下対策事業補助金 2,200万円
 コロナ禍後の新しい生活様式を考慮し、対面販売からの脱却を図り町の魅力をまるごと楽しんでいたため、Web上で町の魅力を発信するコンテンツを構築する。農産物や物産品の売上回復や埴町ファン・サポーターの拡大を図り、交流人口を増やす仕組みづくりをしていく。
 ◆商品券換金用交付金 1億2,645万円
 コロナ禍の中で地域経済の振興を図るため、昨年度に引き続き商品券交付事業を実施する。町内で使える商品券、1人15,000円分を交付する。

Q 「農・商」販売力低下対策事業補助金の交付先・代表者・構成団体は。
 A ふるさと産業おこし連絡協議会であり、会長は町長である。構成団体は、商工会、JA東西しらかわ、物産協会、天領の郷はなわ、ダリア切り花生産等推進協議会等で、今回、東京埴会が新たに加入し19団体である。

Q 湯遊ランドはなわWiFi環境整備は、キャンプ場・ダリア園・宿泊施設の各部屋の中に子機(23台)を整備する。その他は今後検討する。
 A 国の特設交付税の措置がある。埴町に住民登録をすることが必須となっており、隊員6名は全員町民である。

Q 地域おこし協力隊の予算は国からの交付はあるか。また、埴町に住民登録しているのか。
 A 国の特別交付税の措置がある。埴町に住民登録をすることが必須となっており、隊員6名は全員町民である。

Q 林道湯岐前線立木移転補償の詳細は。
 A 県道改良に伴い、押立地区関係者が植えたサクラ22本のうち7本を県の事業で移転。残り15本を町の予算で移転する。

(全員賛成で可決)

議案審議

国保税条例一部改正

Q 今回の改正で納税の負担増となるが、税率について近隣町村と比較検討したか。
 A 昨年度の状況について把握しているが、各町村によって必要額が異なる。当町では繰入金などで負担が極力少なくなるよう算出した額である。

Q 税額を決定するに当たり検討組織はあるのか。
 A 国保運営審議会に諮り答申をいただいている。

Q 税額を決定するに当たり検討組織はあるのか。
 A 国保運営審議会に諮り答申をいただいている。

(全員賛成で可決)

モデル世帯から見る国保税負担

<ケース>

- ・夫 45歳 (世帯主) 事業収入：300万円 (所得192万円)
- ・妻 42歳 (専業主婦)
- ・子 18歳 (高校生)

	令和3年度	令和2年度	比較
税額	330,554円	287,568円	42,986円増

議案等の審議結果一覧表

議案番号	議案内容	審議結果
議案第1号	埴町議会会議規則の一部改正	原案可決
議案第38号	埴町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正	原案可決
議案第39号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正	原案可決
議案第40号	埴町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正	原案可決
議案第41号	埴町国民健康保険税条例の一部改正	報告・同意
議案第42号	埴町滞在型交流施設「湯遊ランドはなわ」設置条例の一部改正	報告・同意
議案第43号	埴町下水道条例の一部改正	報告・同意
議案第44号	白河地方広域市町村圏整備組合規約を変更する協議	報告・同意
議案第45号	令和3年度埴町一般会計補正予算(第1号)	報告・同意
議案第46号	令和3年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	報告・同意
報告第1号	令和2年度埴町繰越明許費繰越計算書について	報告・同意
報告第2号	法人の経営状況について(白河土地開発公社)	報告・同意
報告第3号	法人の経営状況について(株)埴町振興公社	報告・同意
同意第1号	教育委員会委員の任命	報告・同意

一般質問 町政を問う



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。

一般質問とは
議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。

質問登壇議員一覧		ページ	
すずき 鈴木	しげる 茂議員	・コロナ補助金利用による高額レンタルサイクル車購入 ・新型コロナワクチン接種	P 5
ななみや 七宮	ひろき 広樹議員	・副町長 ・ワクチン接種 ・行政区 ・地方創生臨時交付金 ・地域体育館 ・旧常豊小	P 6
まくち 菊地	てつや 哲也議員	・第3次地方創生臨時交付金 ・コロナ禍学習活動 ・ワクチン接種	P 7
すずき 鈴木	もとひさ 元久議員	・ワクチン接種 ・塙厚生病院の医師確保 ・町が出資しているフラワーキング ・塙工業高校	P 8
かなざわ 金澤	たろう 太郎議員	・東京塙会 ・人・農地プラン	P 9
よしむら 吉村	もりひろ 守広議員	・公共交通 ・町の基幹産業・林業 ・消防団	P 10
あおと 青砥	ようぞう 與藏議員	・学校教育 ・高齢者の環境整備 ・農業・林業 ・商業事業者	P 11
よしだ 吉田	かつのり 克則議員	・町の施策 ・米価下落への対策 ・町民がかかえている課題等の対応	P 12
しもじゅう 下重	よしと 義人議員	・「新広域道路交通ビジョン」の対応 ・農家の大型特殊免許取得支援 ・安全な緊急避難所	P 13

質問 一台35万の電動アシスト付き
レンタルサイクルは必要か

答弁 奥久慈街道を走るため
充電大容量の自転車が必要

質問 コロナ補助金により湯遊ランドと道の駅・観光協会に補助したレンタルサイクルは一台35万などと高額だがその理由を伺う。

質問 電動アシスト付き自転車は年間1台当たり1万円のメンテナンス料がかかるが利用料金と利用状況は。

質問 自転車活用により観光と活性化をどのように図っていくのか。

質問 地域おこし協力隊の人たちにどんな活動を期待するのか伺う。

質問 現在の接種の進捗状況は。

質問 今後のワクチンの入手状況は。

質問 今後のスケジュールは。



すずき 鈴木 議員 しげる 茂議員

たかが自転車
されど自転車
になれば良いが



湯遊ランドはなわに補助された電動アシスト付レンタルサイクル

質問 副反応と接種の手順の状況は。

質問 集団接種会場のスタッフは接種が済んでいるのか。

質問 今後のスケジュールは。



ななみや ひろき
七宮 広樹議員

始めないと
始まらない!

副町長空席の対応は

質問

時間を少しいただきたい

答弁



庁舎内の副町長席

【質問】副町長が退任後、空席になっているが新型コロナウイルスの対応や、役場庁舎改築工事の推進・台風などの季節災害・頻繁に起こる自然災害に備え、素早く対応するためにも副町長確保が急務と思うが。

【答弁】信頼でき強い情熱と考えを持って、町政に向かえる人を選んできたい。

コロナワクチン先行接種の対応は

しっかりとした対応を進めていきたい

【質問】こども園・小学校・中学校・社会福祉協議会・ワクチン接種に携わる役場職員の先行接種の考えは。

【答弁】優先順序を上げてやるべきではないかと、話し合いをしている。

【質問】役場庁舎内のクラスタ発生を考えると、役場職員にも先行接種を行う考えは。

【答弁】しっかりと対応を進めていきたい。

人口減少による行政区の対応は

できることから取り組み、後押しをしていく

【質問】人口減少により各行政区ともに人的・資金的に苦慮している現状であり、区費を値上げし組織改革を進める区の維持を図っているが、この先の時代を見据え町では行政区改革の助けの考えは。

【答弁】これからの町を守っていく中で行政区のあり方、重要なものであると重く捉えている。

【質問】区長の任期は1年の為、行政区改革にも取り組みにも時間的にも協議ができない状況であるが、町と町民の架け橋となる、行政区のあり方を話し合う協議会を立ち上げる考えは。

【答弁】ぜひ、働きかけをしたい。

コロナ感染症対応地方創生臨時給付金の活用は

商業交付事業に、1億3,126万3,000円を予算上した

【質問】コロナ禍でまずまず経済が冷え込み、町民は不安を感じながら耐えしのいでいるが、町民の暮らしに直結する支援策は。

【答弁】町民からの希望も多く、強力な経済対策事業の一環として計画した。

地域の体育館に弓道場・フィットサルコート・ボウリング設置は

アンケート調査を実施していきたい

【質問】地域体育館を幅広い年齢層に趣味を兼ねた、健康維持に特化した弓道場やフィットサルコート・ボウリング設備設置の考えは。

【答弁】地域の方、町の方のご意見を拝聴したうえで、決断があつてもと思う。

旧常小の教室活用に、音楽演奏者が集える施設は

活用案としてぜひ、検討したい

【質問】校舎には屋外公園サーキットのような中庭もあり、伝統文化の太鼓や篠笛、吹奏楽器を演奏できる施設として、常豊地区を音楽演奏者が集える文化エリアとする考えは。

【答弁】どのような活用ができるかさらに検討をしていきたい。

質問

新たな経済対策が必要ではないか

答弁

商品券1人1万5,000円を交付する

【質問】昨年10月に行つたエール商品券事業の検証は。

【答弁】取扱店へのアンケートを行い、売上が増加した61%、客数が増加した44%である。また、売上が変わらなかったが35%あったがコロナ禍のなかで、売上が落ちなかったというのは商品券交付の効果だと思われる。

【質問】都市交流事業の売上の推移は。

【答弁】令和元年度、19イベント843万340円、令和2年度1イベント14万6,600円。ダリちゃんショップは令和元年度1,687万8,685円、令和2年度0円となっている。

【質問】農、商販売力低下対策事業とは。

【答弁】コロナによる交流人口の減少とコロナ禍後の新しい生活様式を考慮し、Web上でオンラインショップ、Webプロモーション、イベントPRを一緒にしたコンテンツを作り上げていく。そこにサブスクリプションの機能も入れ、対面販売からの脱却を図っていく。

【質問】顧客に年間を通して届ける品物が埒町だけで賄えるのか。

【答弁】固定した物と何が入っているかわからないという楽しみのある送り方を考えている。



【質問】ターゲットとする客層は。

【答弁】30歳〜50歳代の子どもがいる世帯や健康志向の方など。また、交流のある都市や東京場会などにも情報を提供していきたい。

【質問】ランニングコストなどの運営費用は。

【答弁】今年度創設された原発の処理水による風評対策の地域情報発信交付金を活用している。

【質問】サブスクリプションとは：定額料金を支払い、製品やサービスを一定期間利用すること。

実施可能とする

【質問】県の緊急事態宣言は解除されたが、今後の各園、各学校の学習活動や学校行事は。

【答弁】県教委からの通知で宿泊を伴う学校行事、合宿、遠征、そして練習試合等は感染症対策をしたうえで実施可能とする。

今後、中止としていた学習活動は

12歳から15歳のワクチン接種は

教育長、担当課長と検討している

【質問】接種を予約されなかった町民が、今後接種したい場合の手続きは。

【答弁】国の指示により、令和4年2月28日までに個別に対応していく。

その他の質問

【質問】最近建て替えた他町村の庁舎を参考にすることは。

【答弁】先進参考事例として見学等、考えていきたい。

きくち てつや
菊地 哲也議員

かす
微かに光がみえてきた



鈴木 元久 議員

町民の皆さんの声を大切に！

の上の方から接種する予定。また、高齢者施設の従事者・保育士・教員等も先に接種することも検討する。

東白川地方町村会で5月31日に要望書を提出しお願いしている

高度な技術の医師と高額な医療器具が必要であり、県や厚生連に要望していく。



地域医療のために医師の確保が重要

コロナワクチン接種の進捗状況は

65歳以上3,669名中 2,834名の申し込み、6月10日現在1,384名が接種終了

国・県からのワクチン接種は、5箱で7月3日まで接種可能。

65歳以上の接種終了時期は、2回に分けて接種し、7月中旬ごろまでに終了する予定。

医療従事者の接種状況は、医療関係者は6月中旬に全員終了する予定。

64歳以下のワクチン接種の予約開始時期はいつか。また、人数と優先順位は。

6月11日以降で4,090名。基礎疾患のある方、次に年齢

町が出資しているフラワーキングはどのような花卉を輸出しているのか

ドウダンツツジ、サクラ、ダリア等と聞いている

フラワーキングでは、町に協力等の依頼がなされたか。

今年度から自社でダリアの栽培をする。町が誘致した会社なので、育て方の指導を推進していく。

ダリちゃん号実証実験はどのようになったか。

県の補助で町のコンニャク等も花卉と一緒に海外に輸出するため、年5回実証実験を行った。また、本年も5回程度実施する予定。

埴工業高校の今後の存続に対する考えは

これまで県教育委員会に4回ほど存続をお願いしているが、今後も存続をお願いしていく

令和4年度入学生が最後と聞いているほか、寄贈された土地や資材等を、なくしてはならないという声が出ているが、どのように考えているか。

県教育委員会の説明では、今の中学3年が最後の入学生、令和5年に統合、令和6年に最後の卒業生となり、それまでは埴校舎を使用する。1人でも



当時の埴町長・白石禎美氏が私財を投じて開校し今年73年目

東京埴会を埴町ふるさと産業おこし連絡協議会の会員とし、活動の幅を広げられないか

本年度総会にて議決し、本年度より参画いただいた

東京埴会の現状と町の取り組みについて伺う。

首都圏在住者の埴町出身者を中心に組織され、現在会員数は157名で、年々減少傾向にある。

町から、年間30万円の補助金と、月1回の広報誌、ふるさと情報の発信、議会だより等を郵送している。

また、令和元年度まで湯遊ランドでの総会・東京都内での役員会・ふる



金澤 太郎 議員

人口の7割接種への到達を期待したい

さとバスの旅を年1回ずつ実施してきた。令和2年度は、コロナウイルスの影響で、道の駅はなわを介して2回の埴町産品の宅配事業のみを実施した。

同会では、埴町の企画情報がまだ不足していると思う。埴町ふるさと産業おこし連絡協議会に参画してもらい、情報

不足の解消と同会の活性化を図るべきと考えるが、本年度より協議会に入会いただいた。協議会は19団体で構成され、地域振興企画が一層横断的になる。東京埴会が、今まで以上に埴町振興の一助になっていただけると期待を持っている。

その他の質問

〈新型コロナウイルスワクチン〉

集団免疫（人口の7割が中和抗体を持つ状態）が機能するの

であれば、接種対象外の方も安全性が上がると思う。町の接種対象者の人口比率を伺う。

65歳以上が、40・1%（内84%が希望）、16歳〜64歳が

人・農地プランの実質化に向けた動きは取り組み地域は増加している

人・農地プランは本来、全地域で話し合いが持たれている時期と思うが、町内の取り組み状況を伺う。

平成27年度は伊香、木野反・豊内で、令和2年度には板庭で策定。上渋井、上石井で策定に向けて取り組みが始まった。

中山間地域直接支払制度に取り組み36地域の中で、19地域において、集落戦略という人・農地プランに準ずる計画の策定が、令和4年度を目前に進行中である。

重要な『担い手』として公法人等を作り、農地を一括管理し、将来の就農希望者への農地集積を容易にする仕組みを作るなどの考えがあるか伺う。

結論の誘導を図るものではないが、話し合いの場の設定、制度趣旨・情報提供は町の役割ととらえている。

地方は土地の力を利用して生きていくことが求められるが、一地方行政が即時に農地集積できるものではない。農業法人等の経営強化と、町を守

新規就農者の受け入れ希望等の支援策を考えなければならぬ。特に当町を含む周辺地域では新規就農・農業生産法人への助成が弱く、早急に取組みねばならない課題ととらえている。

人・農地プランとは、農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村により公表するもの。

けた事例がある。酒販免許の要否についての判断は、

販売量にかかわらず、免許が必要と考えているが、ふるさと納税の例もあり、販売手法含め酒販免許の要否について検討を進めていく。

埴町の中長期的の将来像と取り組みを問う



あおと 青砥 議員

予知・洞察力



質問

学校教育の将来像は

答弁

埴町教育大綱を進める

質問 学校教育の将来像をどのように考えるか。

答弁 埴町教育大綱の「埴町を愛し、守り育てる子どもたちを育てる」を進める。「国・地域・家族を守る体力や知識を持ち合わせた子ども教育」を考える。

質問 少子化する笹原小学校の統廃合の方向性は。

答弁 現在の全校生徒数は66名、統合は考えていない。

質問 スクールバス・代替バスの利用率は。

答弁 町所有のバスが3台、ダリア観光バス2台の計5台、他代替の福島交通がある。(スクールバス+代替バス)埴小23%+7%、笹原小36%+36%、埴

中1%+22%、笹原幼稚園40%+10%、こども園22%。

質問 埴工業高校の対応に夜間中学校を考えるとられないか。

答弁 県も夜間中学校を検討しているが、町は存続一本で対応している。

高齢者の環境整備は

健康維持事業を今後も続ける

質問 将来の高齢者の生活環境をどのように考えるか。

答弁 健康維持事業に引き続き取り組む。健康を維持することが事業費支出を結果的に抑えられる。

質問 公共交通空白地域と免許返納の対応策は。

答弁 過疎地域の持続的な発展のための特別な措置法が整備され、国の予算が期待される。公共交通活性化協議会に提案し、車両購入・システムなど進める。



今後の商業事業者の経営支援は

インターネットを活用する

質問 商業の理想形は。

答弁 インターネットを活用した新しいタイプの企画を模索したい。

農業・林業の安定化経営の支援は

基幹産業を伸ばすためにしっかり対応する

質問 林業事業は、輸入代の高騰で国内産木材も高騰している。追い風の中、町の対応はどのような形でつなぐつもりか。

答弁 基幹産業の強化のため、しっかり対応する。

質問 米価対策・ブランド品育成計画の考えは。

答弁 拡張システム化に2,200万円予算でブランド品育成を行う。第4次コロナ補正を商品券でバックアップする。

質問

これからの公共交通の在り方は

答弁

公共交通体系の構築はできるだけ早く作り上げたい

質問 公共交通活性化協議会による実証運行の内容と結果は。

答弁 平成26年度常豊地、平成27年度笹原地区でデマンドタクシー、平成30年度高城地区でタクシー利用料金助成事業を実施。結果は、デマンドタクシーは利用者が少なかったが、タクシー事業は利用者も多く効果があった。

質問 生活バス運行補助金3,268万円のうち、補助金は。

答弁 県補助金634万円、特別交付税は2,107万円があり、実負担額は526万円。



質問 これまでの実証運行の結果等を踏まえ、これからの公共交通体系の構築は。

答弁 高齢化等の町の変化に対応した交通ネットワークの再編案の検討や、コミュニティバス等の導入を検討する。

団員の処遇改善は

社会情勢を踏まえながら必要な措置を検討する

質問 現在の処遇は。

答弁 一般団員報酬は22,500円/年、出勤手当は1,000円/回である。

質問 今年度、配備予定のポンプ車の仕様は。

答弁 総重量3.5トン未満、6人乗り、2輪駆動、オートマを予定している。

質問 消防庁長官通知への対応は。

答弁 内容を検証し、予算を確保し、他町村と歩調を合わせて消防団を再編して体制を強化していく。今後



現在配備されている消防ポンプ車

質問 今後の林業振興は。

答弁 林業アカデミーの卒業生に対し、まちの魅力ある林業と住みやすさをアピールし、町内へ就職してもらえ、取り組みをしていく。

町の基幹産業の一つである林業の振興は

質問 ふくしま森林再生事業のこれまでの実績は。

答弁 令和27年(令和2年)まで、553.12ha実施し令和3年は127.44haの予定。

質問 今年度の埴町で森林アカデミーの研究予定は。

答弁 6月14日(17日)チェンソー研修、9月14日(17日)ドローン研修、10月25日(28日)作業道作成研修を予定している。

質問 今後の林業振興は。

答弁 林業アカデミーの卒業生に対し、まちの魅力ある林業と住みやすさをアピールし、町内へ就職してもらえ、取り組みをしていく。



よしもら もりひろ 議員

危機管理は、最悪を想定して

一般質問

一般質問



よしだ かつのり 議員

なぜか庁舎建設基本計画書ができています。不思議です！

役場庁舎建設説明責任は

掌握している部分は説明している

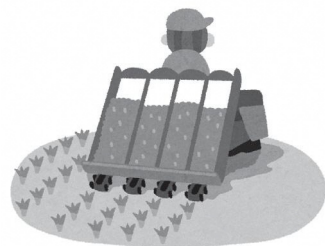
質問

答弁

質問 町の施策で役場庁舎新築を決定し町民に対する説明責任は、十分に行っている認識なのか。
答弁 現況の中で説明できる部分、できない部分がある。財源、庁舎が古い地震等が来たときに耐えられるのか庁舎の管理を預かる私にも危惧される。町として掌握している部分はしっかりと説明責任を果たしていると考えている。

質問 町長所有の自転車が西側玄関に置いてあるが目的は。
答弁 町ではサイクルツーリズムを推進している。現在、庁舎西側玄関内に自転車活用のPRコーナーを設けスポーツタイプ自転車を展示。個人所有の自転車を展示していたが、現在展示の自転車は町で購入したもので公有車の扱い。
質問 「はなわこども園」駐車場問題、土地を購入し駐車場設置の計画があるか。
答弁 朝の登園時混雑している。職員の車が40台を超える台数が駐車している。危険回避のために職員の車を別なところに。駐車スペースの確保。
質問 町の不祥事などの公表基準はどのようになっているのか。
答弁 職員の懲戒処分等に関する基準に公表すべきものが定めてある。

質問 町長所有の自転車が西側玄関に置いてあるが目的は。
答弁 町ではサイクルツーリズムを推進している。現在、庁舎西側玄関内に自転車活用のPRコーナーを設けスポーツタイプ自転車を展示。個人所有の自転車を展示していたが、現在展示の自転車は町で購入したもので公有車の扱い。
質問 「はなわこども園」駐車場問題、土地を購入し駐車場設置の計画があるか。
答弁 朝の登園時混雑している。職員の車が40台を超える台数が駐車している。危険回避のために職員の車を別なところに。駐車スペースの確保。
質問 町の不祥事などの公表基準はどのようになっているのか。
答弁 職員の懲戒処分等に関する基準に公表すべきものが定めてある。



町民がかかえている課題等の対応は

質問 使用期限が過ぎた消火器の処分対応は。
答弁 家庭ごみとして集積所での回収は安全性の面から行っていない。一般家庭のものであれば直接搬入で東白衛生組合において預かりしている。
質問 町の交通事故防止対策の取り組みは。
答弁 町交通対策協議会、関係団体とも連携しながら取り組んでいる。



「コロナ禍」九つ山を遠くに水稻の生育が進む水田

稲作農家に臨時交付金は今のところ考えてはいない

質問 コロナ禍でコメの価格が下落しているが町長の認識は。地方創生臨時交付金を稲作農家に交付する考えは。
答弁 単発的な助成よりは、先々まで販路を広げていく事業に資金は投下したい。商品券の配布で、多少なりとも手助けになればと思う。米の値下りの補償については、今のところ考えてはいない。

質問

答弁

新広域道路交通ビジョン、今後の対応は

実現に向けて情報収集に努める

質問 『新広域道路交通ビジョン』及び計画の中で東白川郡が関連する構想路線への町の対応は。
答弁 国では平成30年に道路法を改正し重要物流道路制度を創設し、これに基づき福島県では、計画を取りまとめ中。東白川郡を通過する高規格道路として(仮)水戸・郡山広域都市圏連絡道路が広域道路ネットワーク計

画に位置付けられ、県が主体となって進める事案なので当面は情報収集に努め、実現に向けて対応していく考えである。
質問 地域の将来像を踏まえた広域的な道路のためにも、新たな構築が必要では。
答弁 都市部とのアクセス改善はとかく、ストロー現象と称される

ように、都会に人口や産業の流出も危惧される場所である。このような現象を起こさないためにも、地域の吸引力を高める必要があると考えている。
質問 東白川郡町村の連携した誘致運動が求められると思うが。
答弁 郡内ばかりでなく石川郡、さらには茨城県との連携も必要と考えている。すでに組織されている、国道118号(矢祭・須賀川間)整備促進期成同盟会の構成市町村や福島県との情報交換などから関係を深め、高規格道路(高速道路)実現に向け活動していきたいと考えている。



未来につなぐ高速道路(イメージ)

より安全な緊急避難所を指定の見直しも含め検討

質問 今年度作成される新たな防災マップを参考に、より安全な緊急避難所を考えてみてはどうか。
答弁 新たな防災マップは、福島県が公表した最新の洪水浸水想定区域データや土砂災害警戒区域などの情報を、住宅地図と重ね今年度作成する。現在指定緊急避難所は62施設を指定しているが、地形や避難経路を踏まえ指定の見直しも含め検討していきたい。

画に位置付けられ、県が主体となって進める事案なので当面は情報収集に努め、実現に向けて対応していく考えである。
質問 地域の将来像を踏まえた広域的な道路のためにも、新たな構築が必要では。
答弁 都市部とのアクセス改善はとかく、ストロー現象と称される

ように、都会に人口や産業の流出も危惧される場所である。このような現象を起こさないためにも、地域の吸引力を高める必要があると考えている。
質問 東白川郡町村の連携した誘致運動が求められると思うが。
答弁 郡内ばかりでなく石川郡、さらには茨城県との連携も必要と考えている。すでに組織されている、国道118号(矢祭・須賀川間)整備促進期成同盟会の構成市町村や福島県との情報交換などから関係を深め、高規格道路(高速道路)実現に向け活動していきたいと考えている。

画に位置付けられ、県が主体となって進める事案なので当面は情報収集に努め、実現に向けて対応していく考えである。
質問 地域の将来像を踏まえた広域的な道路のためにも、新たな構築が必要では。
答弁 都市部とのアクセス改善はとかく、ストロー現象と称される



しもじゅう よしと 議員

東白川郡の未来のために高速道路を・・・

画に位置付けられ、県が主体となって進める事案なので当面は情報収集に努め、実現に向けて対応していく考えである。
質問 地域の将来像を踏まえた広域的な道路のためにも、新たな構築が必要では。
答弁 都市部とのアクセス改善はとかく、ストロー現象と称される

農家の大型特殊免許取得に対しての支援は公平性の問題で慎重に対応

質問 2019年の道路運送車両法改正で、トラクターに作業機を付けた状態での公道走行が可能になったが、それには大型特殊免許を取得しなければならぬ。何らかの支援策がないか。
答弁 農業者だけに免許取得助成となると、他の職種の方との公平性が問題となるため慎重に対応しなければならぬと考えている。

ひとことインタビュー

令和3年6月定例会の傍聴者へインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



ふじた たかよし
藤田 隆美さん(東河内)

傍聴したきっかけは

今まで、町議会を傍聴したことはありませんでした。議員から傍聴を勧められ、議場の傍聴席に初めて座りました。コロナ状況下でもあり、リモートによって議中継を見ることができたため傍聴席は私だけでした。

傍聴した感想は

6月定例会一般質問の午後の部、3人の議員の質問を傍聴しました。3時間でしたが、議員の質問と執行部の答弁を議場で聴いていると、時間の過ぎるのが短く感じられました。質問に立った議員それぞれが、質問に際してそれぞれの部門

より良い選択をするために、議会の存在が重要

の詳細についてよく勉強しながら、内容に精通していることに敬服しました。各議員が得意分野を持ち、それぞれの立場や観点により質問内容の違いを感じることで、埴町の今、目の前にある課題点を認識し、町の将来を見つめて質問している様子が見て取れました。このように、将来を考え質問し、適切な意見を述べる様子を見て、町民のためにより良い選択をするには、この議会の存在が重要であると思います。

議会に対する意見や要望

初めて議場に入り、「伝統のある議場」だと感じました。設備についても、長期間でいねいに修理しながら大切に使用している様子

がうかがえました。議長が、「質問時間は〇時までです。」と質問が始まるたびに発言していました。この際思い切った、質問の残り時間表示モニターを議場の見えやすい場所に設置してはいかがでしょうか。一目瞭然に残り時間を確認することができそうですので便利です。

町のたどった今までの歴史を踏まえ、地理的条件や社会的、経済的条件等を勘案し、将来を見つめ、各議員が意見を述べあいながら、町民のためにより良い選択肢を模索することにより、町のあるべき姿を決定していくことに議会の存在意義があります。今後、町民一人一人の幸せを願い、町議会のなお一層の発展と充実を期待しております。

4月

臨時会のあらし

令和3年4月22日に第3回臨時会(会期1日間)が午前10時より開会されました。町長専決7件と議案2件の審議を行い、全員賛成により原案可決となりました。
※町長専決内容は、ホームページをご覧ください。

IP告知システム更新に必要な機器の調達

【主な内容】

平成23年度に運用開始したIP告知システムについて、更改に伴う機器の調達。テレビ電話型端末4,650台(うち埴分2,800台)の他機器一式。
取得価額 4億2,303万9,100円
契約方法 随意契約
契約相手 東日本電信電話株式会社
宮城事業部 福島支店
支店長 山貫 昭子

旧埴保育園の土地・建物を譲渡

【主な内容】

町所有の旧埴保育園の土地を減額して譲渡、建物を無償で譲渡。児童発達支援センター、基幹相談支援センターをはじめとした地域相談支援事業の活動拠点として活用予定。
譲渡価額 土地(面積:406.02㎡) 2,882,742円
建物・無償
契約方法 随意契約
契約相手 社会福祉法人牧人会
理事長 山下 勝弘

質疑

Q 1台当たりの端末機の金額は

A 72,200円(税抜き・設計価格)で発注している。

Q 環境監視装置とはどのようなものか。

A 埴2台・片貝1台・矢祭町1台の計4台設置し、通信環境のエラー監視等を行う。

Q 土地・建物について、目的外に使用した場合の条項は。

A 売買契約の中で用途を定めている。

Q 土地譲渡の基準とした金額は何か。

A 固定資産評価額の2分の1である。

5月

臨時会のあらし

令和3年5月27日に第4回臨時会(会期1日間)が午前10時より開会されました。議案1件の審議を行い、全員賛成により原案可決となりました。

質疑

Q 安全面での審査はしているのか。

A 基準を満たした会社を募集し入札している。

Q 6月定例会の議決まで待てなかったのか。

A 工期・発注の関係により5月臨時会での提出となった。

Q 橋の耐用年数は。

A 部材により年数が異なるが60〜70年と見られる。5年に一度の点検で補修等を行っている。

Q 供用開始時期は。

A 令和4年度中に完成し、令和5年4月から供用開始したい。

町道川上東河内線(雨谷地内)の橋製作・架設工事着手

【主な内容】

平成27年度に着手した町道川上東河内線の改良事業として実施、常世中野宇雨谷地内の渡瀬川に建設する橋梁上部工事の工事請負契約の締結。
契約金額 86,240,000円
契約方法 条件付一般競争入札
契約相手 矢田工業株式会社
代表取締役 成田 正樹

～議会だよりモニターに8名の方を委嘱しました～

今後1年間議会広報や広聴関係でお世話になります

藤田 隆美さん	東河内	小野亜希子さん	常世中野	芳賀 元昌さん	川 上	鈴木 彩乃さん	上 町
金澤 誠司さん	植 田	大縄いづみさん	本 町	大友 康子さん	台 宿	渡邊 雅男さん	川 上

議会だよりモニターさんの声

1. 表紙及び裏表紙

- ・マスクでの入学式、コロナの状況の中、これからの未来に希望を持って進んでほしい。
- ・「花の里川上」活動内容がよくまとめられており、活動に対する思いが伝わる。

2. 令和3年度当初予算・3月定例会

- ・家計簿的にダリちゃんファミリーを登場させてはどうか。
- ・それぞれのトピックが円グラフのどの部分と対応するのか、記号等を使って分かりやすく示されているとよい。
- ・大きなお金が動いている事実を数字で知ることは重要だと思う。

3. 一般質問ページ

- ・大きな問題から身近な問題まで、各議員の特色が出ていて面白い。
- ・活発な議会運営ができていると思う。

前回4月23日発行の議会だより154号に対する声を掲載します。


- ・「庁舎新築」と「ワクチン接種」は町民が最も気になっているところだと思うので、議員が個別に載せるのではなく、まとめて質問・答弁という形で載せてはどうか。
- ・地域に根差したきめ細かい質問と、それに対応する丁寧な回答がされていると改めて知ることができた。

4. その他ご意見など

- ・タブレットが生徒1人1台整備されたことは、コロナの状況の中、素晴らしいことである。
- ・追跡レポートは、町民にとって関心があるものだと思うので、今後も続けてほしい。湯遊ランドはなわの施設改修工事の進捗状況や町民の利用率、委託事業者による経営状況の分析結果など。

私もひとこと


委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。



藤田 隆美さん
(東河内)

議会が担う町の未来

今まではほとんど読んだことがなかった議会だよりでしたが、手に取って読んでみると、議員がさまざまな角度から問題点をとらえて質問をしていることが感じられます。特に、新型コロナウイルスに関する質問や新庁舎建設への質問での答弁は、



小野亜希子さん
(常世中野)

最近知り合った埴町を知らない方からそんな質問を受けました。「自然豊かで穏やかな良い町です」これは私の回答ですが、町民の皆さんはどう答えるのかなあ？ 大きな変化を創られる今、どんな未来を創

私が今まで知らなかった内容でありました。このことから、埴町の現状を知る材料として貴重な情報であることに気づきました。広報誌の編集は、手間暇がかかります。議会での議論を通じてその思いが町民に伝わるように、そして、この議論の積み重ねが埴町の未来を創っていくことを思い、町民に親しまれる議会だよりであり続けることを願っております。

ていきたいかを一人一人がさうに問われる時代が来ようと思います。どんな思想の人たちが住んでいるのか、これからはそれが住む場所を選ぶ基準になるだろうという方もいます。町民と議会をつなぐコミュニケーション誌として、意味をなせるような議会だよりを発信して欲しいと思います。



今後の議会・議員活動に生かす 割貝議長へ県町村議会議長会長から感謝状

割貝寿一議長への感謝状伝達式が6月29日(火)、議長室で行われました。

東白川地方町村議会議長会長の棚倉町議会・須藤俊一議長から、県町村議会議長会長からの感謝状が伝達されました。これは、令和2年6月から1年間務めた、県町村議会議長会副会長の退任に対してのものです。

感謝状について、割貝議長は「初めての経験でいい勉強になった。今後の活動に生かす」と今後の抱負を述べました。

町議会ホームページ 議会の様子(一般質問)を視聴できます

「埴町ホームページ」→「埴町議会」→「議会中継」をクリックすると動画を視聴できます。
※議会終了後、2～3週間後の配信になります。

※その他の質疑は、「会議録」をクリックしご覧ください。



議会活動出欠状況

令和3年4月1日 ～ 6月30日

年月日	会議名称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
3.4.7	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.4.15	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.4.20	経済常任委員会(所管事務調査)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.4.22	4月臨時会(専決処分についてほか)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.4.27	総務常任委員会(所管事務調査)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.5.27	5月臨時会(工事請負契約の締結について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.5.27	全員協議会(埴町振興公社事業分析及び実態調査等業務委託成果ほか)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.2	議会運営委員会(6月定例会運営)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.10	6月定例会(1日目:議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.10	全員協議会(都市計画審議会委員の推薦)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.10	総務常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.10	経済常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.10	広報常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.11	6月定例会(2日目:一般質問6名)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.14	議会運営委員会(定例会追加議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.14	全員協議会(定例会追加議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.14	6月定例会(3日目:一般質問3名、議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.14	議会運営委員会(6月定例会検証)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.6.30	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○出席 一該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀(忌引)、病気・けが(傷病)、突発的事故(事故)、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：キルトメイトはなわ
 活動場所：埴町公民館
 会長：生方 ゆき子 TEL43-2816
 会員：12名

洋布・和布を使って手仕事を楽しむサークル

会の結成から約30年になり、パッチワークのバックやタペストリー（壁飾り）作品、着物地を使って、ひな人形やつるし雛作りなどを行っています。おしゃべりで手が動かないこともあります。和気あいあいと楽しんでいます。会員の素晴らしい作品を見ていただく機会を設けるため、駅コミュニティプラザや道の駅はなわなどで展示を行っています。ちなみに、7月15日～7月21日まで道の駅はなわでのタペストリー展示会を予定しています。

会員が少ないことが悩みです。町内にお住まいの方で興味のある方、随時募集しています。

毎月第2・第4水曜日の夜(7:00～9:00)の教室を見学においでください。お待ちしております。



心を込めて作品づくりをしています



編集後記

町内の新型コロナウイルスス・ワクチン接種も順調に進み、季節も梅雨に入りました。

7月23日開会の東京2020オリンピック競技大会に参加する各国各種目のアスリートたちが来日する報道を目にしますが、同時に新型コロナウイルス変異株の感染拡大も懸念され複雑な思いでいる方も多いと思います。

心配ばかりのオリンピック・パラリンピック開催ですが、日本選手の活躍と感動とともに、無事に閉会式を迎えることを願うばかりです。

また埴町のダリア「メダリスト」が、世界の報道関係者が集まるプレスセンターに「お・も・て・な・し」として飾られます。

今後もシンプルでわかりやすく伝える、議会だよりづくりに励んでまいります。

七宮 広樹

あなたも議会を傍聴してみませんか

次回9月定例会は9月9日(木)からの予定です。

場所 役場2階 議場

(傍聴時は感染症予防の観点からマスク着用をお願いします)



広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
鈴木	吉村	七宮	吉田	菊地	青砥
元久	守広	広樹	広明	哲也	與藏